

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)公開番号

特開2023-162527
(P2023-162527A)

(43)公開日 令和5年11月9日(2023.11.9)

(51)国際特許分類	F I	テーマコード (参考)
E 0 6 B 7/14 (2006.01)	E 0 6 B 7/14	2 E 0 1 1
E 0 6 B 1/70 (2006.01)	E 0 6 B 1/70	2 E 0 3 6
E 0 6 B 1/60 (2006.01)	E 0 6 B 1/60	

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全11頁)

(21)出願番号	特願2022-72895(P2022-72895)	(71)出願人	391008582
(22)出願日	令和4年4月27日(2022.4.27)		昭和フロント株式会社
			東京都千代田区内神田1丁目13番7号
		(74)代理人	100085394
			弁理士 廣瀬 哲夫
		(74)代理人	100128392
			弁理士 服部 秀一
		(74)代理人	100165456
			弁理士 鈴木 佑子
		(72)発明者	石井 勝己
			東京都千代田区内神田1丁目13番7号
			昭和フロント株式会社内
		Fターム（参考）	2E011 JA01 KC01 KC09 KD14
			KF02
			2E036 RA08 RB01 RB03 RC01
			最終頁に続く

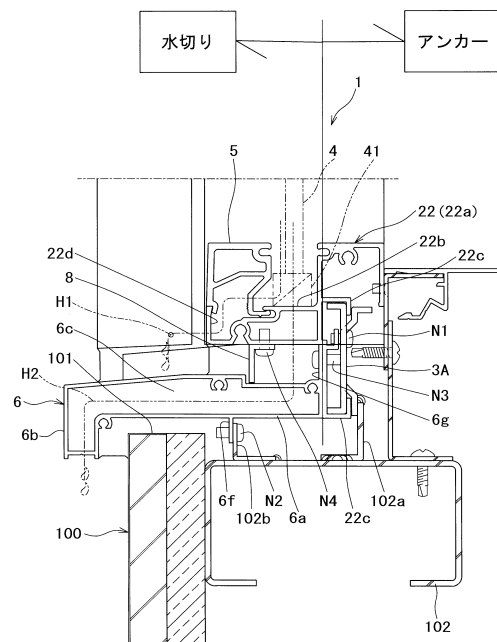
(54)【発明の名称】 建具

(57) 【要約】

【課題】部品点数を抑えつつ、躯体内に侵入しようとする水を適切に排水する。

【解決手段】建物１００の開口部１０１に設置される枠体２と、枠体２に設置され、建物１００の躯体１０２に固定される複数のアンカー部材３Ａ、３Ｂと、開口部１０１の下辺に沿って設置される水切り６と、を備える建具１であって、枠体２の下枠２２は、複数のアンカー部材３Ａを介して躯体１０２に固定される下枠本体部２２ａと、下枠本体部２２ａから屋外側に突出し、パネル４の下端部を支持するパネル支持部２２ｂと、を備え、下枠本体部２２ａの屋外側で、かつパネル支持部２２ｂの下方には、空間Ｋが形成され、水切り６は、少なくとも屋内側の部位が空間Ｋに位置し、下枠２２及び縦枠２３の下方に亘って通しで設置され、アンカー部材３Ａは、下枠２２の下枠本体部２２ａの屋内側に上下方向に沿って設置される

【選択図】 図4



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

建物の開口部に設置される枠体と、
前記枠体の内周側に設置されるパネルと、
前記枠体に設置され、建物の躯体に固定される複数のアンカー部材と、
前記開口部の下辺に沿って設置される水切りと、を備える建具であって、
前記枠体は、
前記開口部に上下方向に沿って設置される複数の縦枠と、
複数の前記縦枠の下端部同士を繋ぐように前記開口部の下辺に沿って設置される下枠と、
を含み、
前記下枠は、
複数の前記アンカー部材を介して前記躯体に固定される下枠本体部と、
前記下枠本体部から屋外側に突出し、前記パネルの下端部を支持するパネル支持部と、
を備え、
前記下枠本体部の屋外側で、かつ前記パネル支持部の下方には、空間が形成され、
前記水切りは、少なくとも屋内側の部位が前記空間に位置し、前記下枠及び前記縦枠の
下方に亘って通して設置され、
前記アンカー部材は、前記下枠本体部の屋内側に上下方向に沿って設置されることを特
徴とする建具。

10

【請求項 2】

前記アンカー部材は、上下方向において、前記パネル支持部の上端部から前記下枠本体
部の下端部に亘って設置されることを特徴とする請求項 1 に記載の建具。

20

【請求項 3】

前記水切りは、
前記パネル支持部の下方に位置する水受け部と、
前記水受け部から屋外側に延出し、前記水受け部が受け止めた水を屋外に排水する排水
部と、
前記水受け部から前記排水部に亘って形成され、水の排出流路となる中空部と、を備え
ることを特徴とする請求項 1 に記載の建具。

【請求項 4】

前記水切りは、
前記躯体に固定される第 1 固定部と、
前記下枠本体部に固定される第 2 固定部と、を備え、
前記第 2 固定部は、前記開口部の間口方向から見たとき、前記下枠本体部に設置される
前記アンカー部材と前後方向にオーバーラップすることを特徴とする請求項 1 に記載の建
具。

30

【請求項 5】

前記パネル支持部の下面部と前記水切りの上面部との間には、前記パネル支持部に作用
する前記パネルの自重を前記水切りに受けさせる自重受け部が設けられることを特徴とす
る請求項 1 に記載の建具。

40

【請求項 6】

前記開口部の間口方向中間部に立設される前記縦枠を補強する補強材をさらに備え、
前記補強材は、前記開口部の間口方向から見たとき、前記水切りよりも屋内側に立設さ
れ、少なくとも下端部が補強材ブラケットを介して前記躯体に固定されることを特徴とす
る請求項 1 に記載の建具。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、ビルなどの建物の開口部に設置される建具に関する。

【背景技術】

50

【0002】

建物の開口部に設置される枠体と、開口部の下辺に沿って設置される水切りと、を備える建具が知られている。例えば、特許文献1には、分割された水切り（水切皿板1）の接合部に排水受け（水受皿10）を設置し、躯体側に侵入しようとする水を排水受けで受け止め、受け止めた水を水切りを介して屋外に排水可能な建具が開示されている。

【0003】

ところで、枠体は、開口部に上下方向に沿って設置される複数の縦枠と、複数の縦枠の下端部同士を繋ぐように開口部の下辺に沿って設置される下枠と、を備えて構成される場合がある。この場合、縦枠と下枠との取り付け部に隙間が生じると、この隙間を介して水が躯体内に侵入する虞がある。

10

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】実開昭62-177890号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、特許文献1の建具では、水切りとは別体の排水受けが設けられるため、部品点数が増加するという課題がある。また、特許文献1の建具では、排水受けの設置位置が水切りの接合部に限定されるため、縦枠と下枠との取り付け部から躯体内に侵入しようとする水を受け止めるように排水受けの設置位置を最適化することが難しい。

20

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明は、上記の如き実情に鑑みこれらの課題を解決することを目的として創作されたものであって、請求項1の発明は、建物の開口部に設置される枠体と、前記枠体の内周側に設置されるパネルと、前記枠体に設置され、建物の躯体に固定される複数のアンカー部材と、前記開口部の下辺に沿って設置される水切りと、を備える建具であって、前記枠体は、前記開口部に上下方向に沿って設置される複数の縦枠と、複数の前記縦枠の下端部同士を繋ぐように前記開口部の下辺に沿って設置される下枠と、を含み、前記下枠は、複数の前記アンカー部材を介して前記躯体に固定される下枠本体部と、前記下枠本体部から屋外側に突出し、前記パネルの下端部を支持するパネル支持部と、を備え、前記下枠本体部の屋外側で、かつ前記パネル支持部の下方には、空間が形成され、前記水切りは、少なくとも屋内側の部位が前記空間に位置し、前記下枠及び前記縦枠の下方に亘って通して設置され、前記アンカー部材は、前記下枠本体部の屋内側に上下方向に沿って設置されることを特徴とする。

30

また、請求項2の発明は、請求項1に記載の建具であって、前記アンカー部材は、上下方向において、前記パネル支持部の上端部から前記下枠本体部の下端部に亘って設置されることを特徴とする。

また、請求項3の発明は、請求項1に記載の建具であって、前記水切りは、前記パネル支持部の下方に位置する水受け部と、前記水受け部から屋外側に延出し、前記水受け部が受け止めた水を屋外に排水する排水部と、前記水受け部から前記排水部に亘って形成され、水の排出流路となる中空部と、を備えることを特徴とする。

40

また、請求項4の発明は、請求項1に記載の建具であって、前記水切りは、前記躯体に固定される第1固定部と、前記下枠本体部に固定される第2固定部と、を備え、前記第2固定部は、前記開口部の間口方向から見たとき、前記下枠本体部に設置される前記アンカー部材と前後方向にオーバーラップすることを特徴とする。

また、請求項5の発明は、請求項1に記載の建具であって、前記パネル支持部の下面部と前記水切りの上面部との間には、前記パネル支持部に作用する前記パネルの自重を前記水切りに受けさせる自重受け部が設けられることを特徴とする。

また、請求項6の発明は、請求項1に記載の建具であって、前記開口部の間口方向中間

50

部に立設される前記縦枠を補強する補強材をさらに備え、前記補強材は、前記開口部の間口方向から見たとき、前記水切りよりも屋内側に立設され、少なくとも下端部が補強材ブラケットを介して前記躯体に固定されることを特徴とする。

【発明の効果】

【0007】

請求項1の発明によれば、水切りは、下枠及び縦枠の下方に亘って通しで設置されるので、水切りとは別体の排水受けを設けなくても、下枠と縦枠との取り合い部から躯体内に侵入しようとする水を屋外に排出できる。また、水切りの少なくとも屋内側の部位は、下枠本体部の屋外側で、かつパネル支持部の下方に形成される空間に配置されるので、水切りを含めた下枠の上下幅も抑制できる。また、アンカー部材は、下枠の下枠本体部の屋内側

10

に上下方向に沿って設置されるので、アンカー部材を含めた下枠の前後幅を抑制できるだけでなく、屋内側（見付方向）からのアンカー部材の視認が容易になる。

また、請求項2の発明によれば、アンカー部材は、上下方向において、パネル支持部の上端部から下枠本体部の下端部に亘って設置されるので、パネル支持部から下枠本体部に伝わるパネル荷重（モーメント）を適切に受け止め、下枠の変形を防止できる。

また、請求項3の発明によれば、水切りは、下枠のパネル支持部の下方に位置する水受け部と、水受け部から屋外側に延出し、水受け部が受け止めた水を屋外に排水する排水部と、水受け部から排水部に亘って形成され、水の排出流路となる中空部と、を備えるので、水切りの上面部を介して水を排出する1次排水経路と、水切りの中空部を介して水を排出する2次排水経路と、を確保できる。

20

また、請求項4の発明によれば、水切りは、躯体に固定される第1固定部と、下枠の下枠本体部に固定される第2固定部と、を備えるので、躯体及び下枠によって水切りを確実に固定できる。また、第2固定部は、開口部の間口方向から見たとき、下枠本体部に設置されるアンカー部材と前後方向にオーバーラップするので、水切りの固定強度をさらに高めることができる。

また、請求項5の発明によれば、下枠のパネル支持部の下面部と水切りの上面部との間には、パネル支持部に作用するパネルの自重を水切りに受けさせる自重受け部が設けられるので、パネル支持部から下枠本体部に伝わるパネル荷重（モーメント）を抑制できる。

また、請求項6の発明によれば、開口部の間口方向中間部に立設される縦枠（方立）を補強する補強材をさらに備え、補強材は、開口部の間口方向から見たとき、水切りよりも屋内側に立設され、少なくとも下端部が補強材ブラケットを介して躯体に固定されるので、通しで設置される水切りとの干渉を回避しつつ、補強材を躯体に適切に固定できる。

30

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1】本発明の一実施形態に係る建具を屋外側から見た概略正面図である。

【図2】建具の下枠部を示す図であり、（a）は概略平面断面図、（b）は概略側面断面図である。

【図3】建具の下枠部（非アンカー固定部）を示す側面断面図である。

【図4】建具の下枠部（アンカー固定部）を示す側面断面図である。

【図5】下枠及びアンカー部材の側面図である。

40

【図6】アンカー部材を示す図であり、（a）は側面図、（b）は正面図である。

【図7】建具の補強材立設部を示す概略側面断面図である。

【図8】補強材に対する縦枠の固定構造を示す分解平面図である。

【発明を実施するための形態】

【0009】

以下、本発明の実施の形態について、図面に基づいて説明する。なお、図面において、シーリング箇所をS、1次排水経路をH1、2次排水経路をH2で示す。

【0010】

図1～図8において、1は建具であって、該建具1は、建物100の開口部101に設置される枠体2と、枠体2を建物100の躯体102に固定する複数のアンカー部材3A

50

、 3 B と、 枠体 2 の内周側に設置されるガラスなどのパネル 4 と、パネル 4 を固定させる押縁 5 と、開口部 1 0 1 の下辺に沿って設置される水切り 6 と、建具 1 を連設（連窓）する際に使用される補強材 7 と、を備える。なお、アンカー部材 3 A、3 B には、下枠用のアンカー部材 3 A 及び縦枠用のアンカー部材 3 B が含まれる。

【 0 0 1 1 】

枠体 2 は、例えば、押出型材や曲げ物などからなる上枠 2 1、下枠 2 2 及び縦枠 2 3 を備える。縦枠 2 3 は、開口部 1 0 1 の側辺に沿って設置される場合と、開口部 1 0 1 の間口方向中間部に立設される場合（建具連設時など）がある。縦枠 2 3 を開口部 1 0 1 の間口方向中間部に立設する場合は、隣接位置に補強材 7 を立設し、補強材 7 を介して縦枠 2 3 を躯体 1 0 2 に固定することで、縦枠 2 3 の支持強度が確保される。

10

【 0 0 1 2 】

上枠 2 1 は、複数の縦枠 2 3 の上端部同士を繋ぐように開口部 1 0 1 の上辺に沿って設置される。また、下枠 2 2 は、複数の縦枠 2 3 の下端部同士を繋ぐように開口部 1 0 1 の下辺に沿って設置される。

【 0 0 1 3 】

図 3 ～図 5 に示すように、下枠 2 2 は、複数のアンカー部材 3 A を介して躯体 1 0 2 に固定される下枠本体部 2 2 a と、下枠本体部 2 2 a から屋外側に突出し、パネル 4 の下端部を支持するパネル支持部 2 2 b と、を備える。また、下枠本体部 2 2 a の屋外側で、かつパネル支持部 2 2 b の下方には、空間 K が形成される。

【 0 0 1 4 】

20

下枠本体部 2 2 a の屋内側の面には、アンカー部材 3 A を設置可能とする上下一対のアンカー設置レール 2 2 c が設けられる。一对のアンカー設置レール 2 2 c は、下枠本体部 2 2 a から屋内側に突出し、かつ互いに近づく方向に延在する L 字形状を有する。

【 0 0 1 5 】

パネル支持部 2 2 b の先端側には、押縁 5 を設置するための押縁設置部 2 2 d が設けられる。パネル支持部 2 2 b の上面部にセッティングブロック 4 1 を介してパネル 4 を設置した後、押縁設置部 2 2 d に押縁 5 を設置する工程などを実施することで、パネル 4 が下枠 2 2 （枠体 2 ）に固定される。

【 0 0 1 6 】

図 4 ～図 6 に示すように、下枠用のアンカー部材 3 A は、側面視で上下方向に沿う板状のアンカー本体部 3 a と、アンカー本体部 3 a の上下両端部に切り起こし状に形成され、アンカー本体部 3 a との間にレール係合溝 3 c を形成する上下一対の切り起こし部 3 b と、を備える。また、アンカー本体部 3 a には、複数のネジ挿通孔 3 d が形成されている。なお、縦枠用のアンカー部材 3 B の形状は、下枠用のアンカー部材 3 A と概ね一致するが、図 6 及び図 8 に示すように、アンカー本体部 3 a の一端部から延在する延在部 3 e を有する点が下枠用のアンカー部材 3 A と相違している。

30

【 0 0 1 7 】

図 4 に示すように、アンカー部材 3 A は、下枠本体部 2 2 a の屋内側に上下方向に沿って設置される。具体的に説明すると、アンカー部材 3 A は、下枠 2 2 の端部において、上下一対のレール係合溝 3 c を下枠 2 2 のアンカー設置レール 2 2 c に係合させることにより、アンカー設置レール 2 2 c に沿ってスライド自在に支持される。その後、アンカー部材 3 A は、所定の設置位置に位置合わせされ、ネジ挿通孔 3 d に挿通されるネジ N 1 を介して下枠 2 2 に固定される。そして、下枠 2 2 に固定されたアンカー部材 3 A は、躯体 1 0 2 側に固定されたアングル材 1 0 2 a に溶接されることで、下枠 2 2 を躯体 1 0 2 に固定させる。

40

【 0 0 1 8 】

このような建具 1 によれば、アンカー部材 3 A は、下枠 2 2 の下枠本体部 2 2 a の屋内側に上下方向に沿って設置されるので、アンカー部材 3 A を含めた下枠 2 2 の前後幅を抑制できる。また、屋内側（見付方向）からのアンカー部材 3 A の視認が容易になるので、アンカー部材 3 A とアングル材 1 0 2 a の溶接が容易になるだけでなく、溶接長さを長く

50

して下枠 2 2 の固定強度を高めることができる。

【0019】

また、アンカー部材 3 A は、上下方向において、パネル支持部 2 2 b の上端部から下枠本体部 2 2 a の下端部に亘って設置される。これにより、パネル支持部 2 2 b から下枠本体部 2 2 a に伝わるパネル荷重（モーメント）をアンカー部材 3 A（躯体 1 0 2）で適切に受け止め、下枠 2 2 の変形を防止できる。

【0020】

図 1～図 4 に示すように、水切り 6 は、屋内側の部位が下枠 2 2 の空間 K に位置するように、下枠 2 2 及び縦枠 2 3 の下方に亘って通して設置される。これにより、水切り 6 とは別体の排水受けを設けなくても、下枠 2 2 と縦枠 2 3 との取り付け部 T から躯体 1 0 2 内に侵入しようとする水を屋外に排出できる。また、水切り 6 の屋内側の部位は、下枠 2 2 の空間 K に配置されるので、水切り 6 を含めた下枠 2 2 の上下幅も抑制できる。

10

【0021】

具体的に説明すると、水切り 6 は、パネル支持部 2 2 b の下方（空間 K）に位置する水受け部 6 a と、水受け部 6 a から屋外側に延出し、水受け部 6 a が受け止めた水を屋外に排水する排水部 6 b と、水受け部 6 a から排水部 6 b に亘って形成され、水の排出流路となる中空部 6 c と、を備えており、水切り 6 の上面部を介して水を排出する 1 次排水経路 H 1 と、水切り 6 の中空部 6 c を介して水を排出する 2 次排水経路 H 2 とを確保する。

【0022】

1 次排水経路 H 1 は、図 2～図 4 に示すように、枠体 2 やパネル 4 の屋外側を伝わる 1 次水（雨など）を排水するための経路であり、1 次水は、主に水切り 6 の排水部 6 b の上面部を通して屋外に排水される。また、2 次排水経路 H 2 は、取り付け部 T から躯体 1 0 2 内に侵入しようとする 2 次水を排水するための経路であり、2 次水は、取り付け部 T の下方に位置する水受け部 6 a の流入部 6 d から中空部 6 c に流れ込み、排水部 6 b に形成される排出口 6 e から屋外に排水される。

20

【0023】

また、水切り 6 は、躯体 1 0 2 に固定される第 1 固定部 6 f と、下枠 2 2 の下枠本体部 2 2 a に固定される第 2 固定部 6 g と、を備える。第 1 固定部 6 f は、水切り 6 の下面部から下方に延在しており、躯体 1 0 2 に溶接されるアングル材 1 0 2 b に対してネジ N 2 を介して固定される。また、第 2 固定部 6 g は、水切り 6 の屋内側端部から上方に延在しており、下枠 2 2 の下枠本体部 2 2 a に対してネジ N 3 を介して固定される。

30

【0024】

図 4 に示すように、第 2 固定部 6 g は、開口部 1 0 1 の間口方向から見たとき、下枠本体部 2 2 a に設置されるアンカー部材 3 A と前後方向にオーバーラップする。このようにすると、躯体 1 0 2 及び下枠 2 2 によって水切り 6 を確実に固定できるだけでなく、第 2 固定部 6 g をアンカー部材 3 A に近づけて、水切り 6 の固定強度をさらに高めることができる。

【0025】

図 3 及び図 4 に示すように、下枠 2 2 のパネル支持部 2 2 b の下面部と水切り 6 の上面部との間には、パネル支持部 2 2 b に作用するパネル 4 の自重を水切り 6 に受けさせる自重受け部 8 が設けられる。このような自重受け部 8 によれば、パネル支持部 2 2 b から下枠本体部 2 2 a に伝わるパネル荷重（モーメント）を抑制できる。なお、本実施形態の自重受け部 8 は、下枠 2 2 及び水切り 6 と別体であり、ネジ N 4 を介してパネル支持部 2 2 b の下面部に固定されているが、水切り 6 の上面部に固定してもよいし、下枠 2 2 又は水切り 6 に一体に形成してもよい。

40

【0026】

図 1、図 2、図 7 及び図 8 に示すように、補強材 7 は、開口部 1 0 1 の間口方向中間部に立設される縦枠 2 3 を支持するために設置される。補強材 7 は、開口部 1 0 1 の間口方向から見たとき、水切り 6 よりも屋内側に立設され、上端部及び下端部が補強材ブラケット 7 1 を介して躯体 1 0 2 に固定される。このような構成によれば、通して設置される水

50

切り 6 との干渉を回避しつつ、補強材 7 を躯体 1 0 2 に適切に固定できる。

【 0 0 2 7 】

図 8 に示すように、開口部 1 0 1 の間口方向中間部に立設される縦枠 2 3 は、縦枠用のアンカー部材 3 B を介して補強材 7 に固定される。具体的には、縦枠 2 3 にスライド自在にセットしたアンカー部材 3 B をネジ N 5 を介して縦枠 2 3 に位置決め固定した後、アンカー部材 3 B の延在部 3 e をネジ N 6 を介して補強材 7 に固定する。なお、2 本の縦枠 2 3 を補強材 7 に固定する場合は、各縦枠 2 3 に対するアンカー部材 3 B の固定位置を上下方向にずらす必要がある。また、2 本の縦枠 2 3 の屋外側には、アンカー部材 3 B 及び補強材 7 を隠す外部カバー 9 が設置される。

【 0 0 2 8 】

叙述の如く構成された本実施形態によれば、建物 1 0 0 の開口部 1 0 1 に設置される枠体 2 と、枠体 2 の内周側に設置されるパネル 4 と、枠体 2 に設置され、建物 1 0 0 の躯体 1 0 2 に固定される複数のアンカー部材 3 A、3 B と、開口部 1 0 1 の下辺に沿って設置される水切り 6 と、を備える建具 1 であって、枠体 2 は、開口部 1 0 1 に上下方向に沿って設置される複数の縦枠 2 3 と、複数の縦枠 2 3 の下端部同士を繋ぐように開口部 1 0 1 の下辺に沿って設置される下枠 2 2 と、を含み、下枠 2 2 は、複数のアンカー部材 3 A を介して躯体 1 0 2 に固定される下枠本体部 2 2 a と、下枠本体部 2 2 a から屋外側に突出し、パネル 4 の下端部を支持するパネル支持部 2 2 b と、を備え、下枠本体部 2 2 a の屋外側で、かつパネル支持部 2 2 b の下方には、空間 K が形成され、水切り 6 は、少なくとも屋内側の部位が空間 K に位置し、下枠 2 2 及び縦枠 2 3 の下方に亘って通して設置されるので、水切り 6 とは別体の排水受けを設けなくても、下枠 2 2 と縦枠 2 3 との取り合い部 T から躯体 1 0 2 内に侵入しようとする水を屋外に排出できる。

【 0 0 2 9 】

また、水切り 6 の少なくとも屋内側の部位は、下枠本体部 2 2 a の屋外側で、かつパネル支持部 2 2 b の下方に形成される空間 K に配置されるので、水切り 6 を含めた下枠 2 2 の上下幅も抑制できる。

【 0 0 3 0 】

また、アンカー部材 3 A は、下枠 2 2 の下枠本体部 2 2 a の屋内側に上下方向に沿って設置されるので、アンカー部材 3 A を含めた下枠 2 2 の前後幅を抑制できるだけでなく、屋内側（見付方向）からのアンカー部材 3 A の視認が容易になる。

【 0 0 3 1 】

また、アンカー部材 3 A は、上下方向において、パネル支持部 2 2 b の上端部から下枠本体部 2 2 a の下端部に亘って設置されるので、パネル支持部 2 2 b から下枠本体部 2 2 a に伝わるパネル荷重（モーメント）を適切に受け止め、下枠 2 2 の変形を防止できる。

【 0 0 3 2 】

また、水切り 6 は、パネル支持部 2 2 b の下方に位置する水受け部 6 a と、水受け部 6 a から屋外側に延出し、水受け部 6 a が受け止めた水を屋外に排水する排水部 6 b と、水受け部 6 a から排水部 6 b に亘って形成され、水の排出流路となる中空部 6 c と、を備えるので、水切り 6 の上面部を介して水を排出する 1 次排水経路 H 1 と、水切り 6 の中空部 6 c を介して水を排出する 2 次排水経路 H 2 と、を確保できる。

【 0 0 3 3 】

また、水切り 6 は、躯体 1 0 2 に固定される第 1 固定部 6 f と、下枠本体部 2 2 a に固定される第 2 固定部 6 g と、を備え、第 2 固定部 6 g は、開口部 1 0 1 の間口方向から見たとき、下枠本体部 2 2 a に設置されるアンカー部材 3 A と前後方向にオーバーラップするので、躯体 1 0 2 及び下枠 2 2 によって水切り 6 を確実に固定できるだけでなく、第 2 固定部 6 g をアンカー部材 3 A に近づけて、水切り 6 の固定強度をさらに高めることができる。

【 0 0 3 4 】

また、パネル支持部 2 2 b の下面部と水切り 6 の上面部との間には、パネル支持部 2 2 b に作用するパネル 4 の自重を水切り 6 に受けさせる自重受け部 8 が設けられるので、パ

10

20

30

40

50

ネル支持部 2 2 b から下枠本体部 2 2 a に伝わるパネル荷重（モーメント）を抑制できる。

【 0 0 3 5 】

また、開口部 1 0 1 の間口方向中間部に立設される縦枠 2 3 を補強する補強材 7 をさらに備え、補強材 7 は、開口部 1 0 1 の間口方向から見たとき、水切り 6 よりも屋内側に立設され、少なくとも下端部が補強材ブラケット 7 1 を介して躯体 1 0 2 に固定されるので、通しで設置される水切り 6 との干渉を回避しつつ、補強材 7 を躯体 1 0 2 に適切に固定できる。

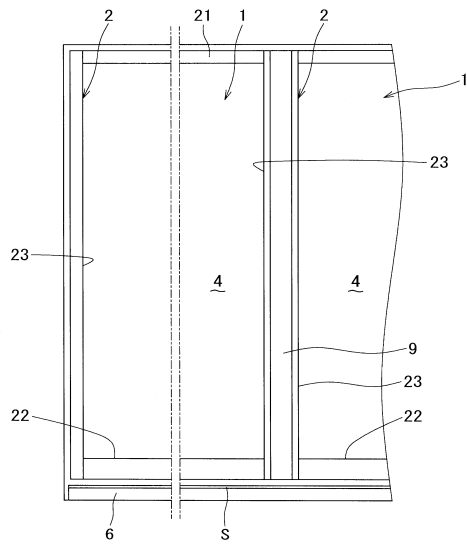
【符号の説明】

【 0 0 3 6 】

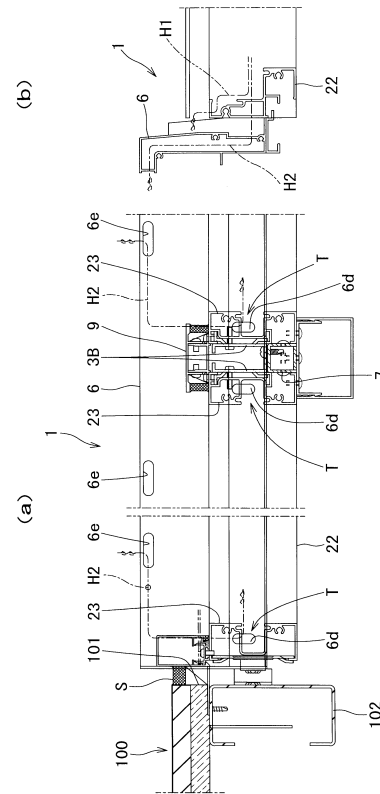
1	建具	
2	枠体	
2 1	上枠	
2 2	下枠	
2 2 a	下枠本体部	
2 2 b	パネル支持部	10
2 2 c	アンカー設置レール	
2 2 d	押縁設置部	
2 3	縦枠	
3 A、3 B	アンカー部材	20
3 a	アンカー本体部	
3 b	切り起こし部	
3 c	レール係合溝	
3 d	ネジ挿通孔	
3 e	延在部	
4	パネル	
4 1	セッティングブロック	
5	押縁	
6	水切り	
6 a	水受け部	30
6 b	排水部	
6 c	中空部	
6 d	流入口	
6 e	排出口	
6 f	第 1 固定部	
6 g	第 2 固定部	
7	補強材	
7 1	補強材ブラケット	
8	自重受け部	
9	外部カバー	40
1 0 0	建物	
1 0 1	開口部	
1 0 2	躯体	
1 0 2 a	アングル材	
1 0 2 b	アングル材	
H 1	1 次排水経路	
H 2	2 次排水経路	
K	空間	

【図面】

【図 1】



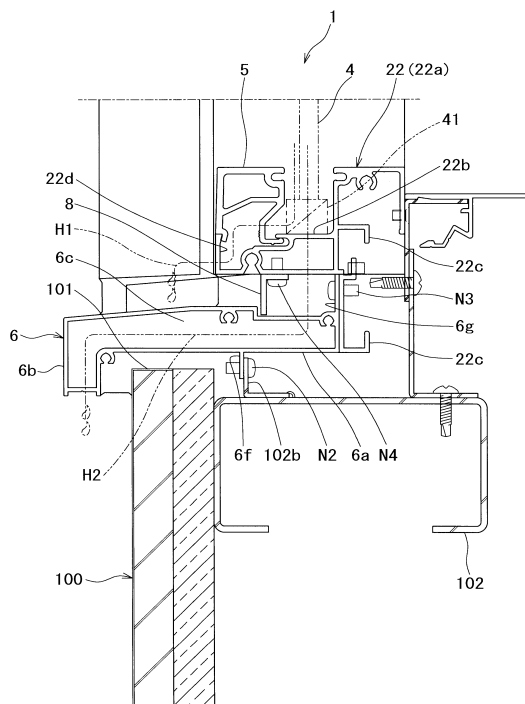
【図 2】



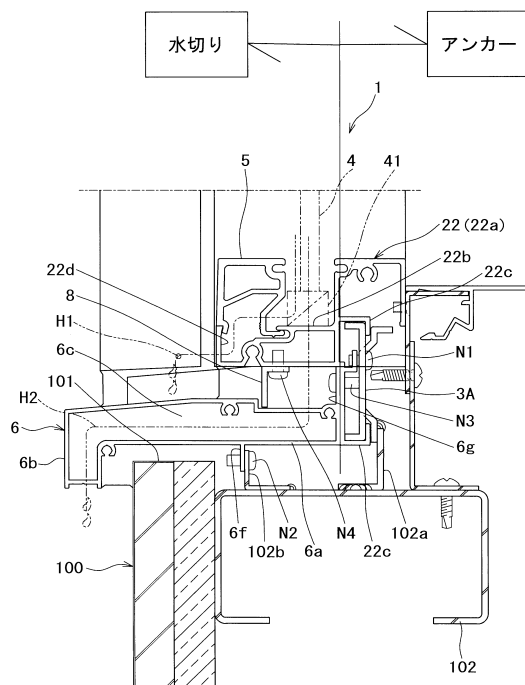
10

20

【図 3】



【図 4】

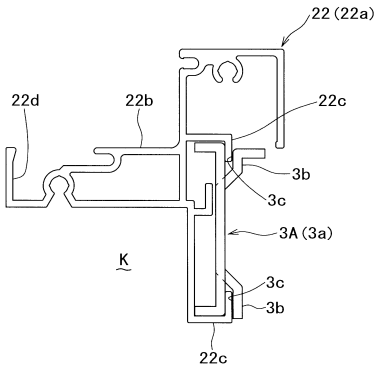


30

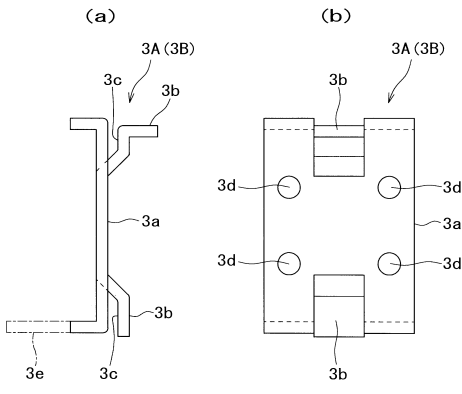
40

50

【図 5】



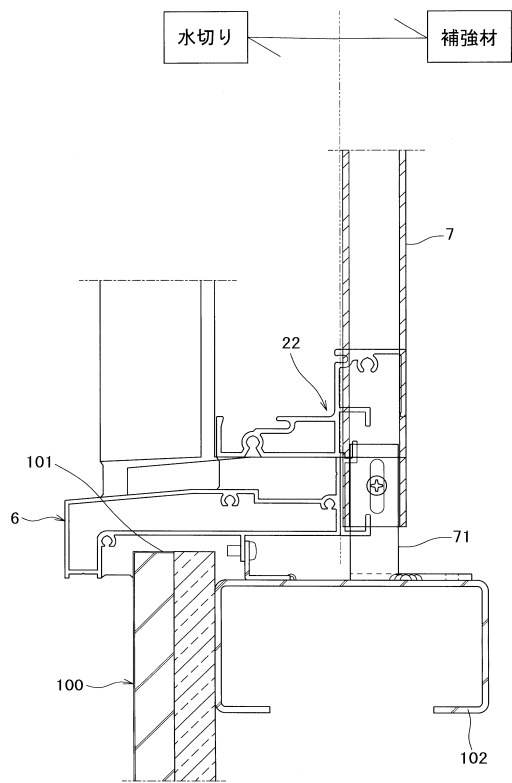
【図 6】



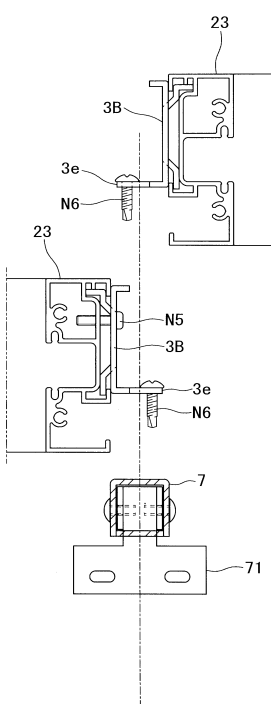
10

20

【図 7】



【図 8】



30

40

50

フロントページの続き

Fターム (参考)

TA05 UA01